



男女が助け合えば できることが広がります

戸畑区自治総連合会
会長

三上久恵さん

1 「自治会の会長をすることになったきっかけについて教えてください。」

公民館の館長を終えたあと、前自治会長が私のところに来られて、「自分の後にぜひ自治会長になってほしい」と言われ、今までの経験が地域の役に立つのであればと思い、引き受けました。それから10年後、今度は戸畑区の自治総連合会の会長になりました。皆様方のご協力のもと、会長を務めています。

2 「普段行っている活動について教えてください。」

月に一度の川掃除や、小学校の子ども達のための朝の声かけ運動。それから夜は、定期的に夜間パトロールをしています。その他にも、住民の皆さんの道路に対する要望を聞いて警察にお伝えしたり、地域の下水管工事やガス工事などがある時は、その会社の人と様々なやりとりを行ったりしています。

3 「特に力を入れて取り組んでいる活動について教えてください。」

天籟寺地区は、一人暮らしのお年寄りがとても多いんです。ほとんどの方が一日中家に閉じこもって、誰とも話すことがない日が何日も続くという状況の方もいます。これではいけない、自治会が何かできないかと皆さんと色々話し合った結果、春の梅まつりに始まり、祇園祭り、校区の運動会、文化祭、餅つき大会、ウォーキング大会、輪投げ大会など、沢山のイベントを計画して行うようになりました。お年寄りの方も、そこに行けば誰かに会える、そしてみんなと繋がっていけるんだという気持ちで、だんだん外に行く楽しみを感じてもらえるようになりました。今では、他の地域の方から「天籟寺のお年寄りの方は元気がいいですね」とよく言われます。

自治会の役割で一番大事な事は、地域の方々がお互いの顔が見えるような関係作りを進めていくことだと思っています。

4 「女性自治会長として性別の壁（男性と女性の違い）にぶつかったことはありますか？また、男性との違いをどのように乗り越えてきましたか？」



男性ばかりの中で女性一人でしたので、いつもどうしたら受け入れてもらえるかと悩んでいました。

菅原神社を運営するための代表者の集会は、男性ばかりで本当は行きたくないという気持ちでいっぱいだったんですが、女、男ではなく肩書きに対しての役割だから行かなくてはいけないと思い、自分の心に「よっしゃ!」と気持ちをを入れて部屋に入り「こんばんは!」と自分の方から声を掛けました。すると、皆さん本当に驚いた様子で「え!副会長(男性)を出すべきだろう!本人(女性の自治会長)が来るとは思わなかった!」と言われたんです。

その後、宮司さんに「新しく入ってこられた三上さんです。どうぞ、挨拶してください。」と言われたので、「宮司さんから女性の候補を推す声が聞かれ、時代は変わったんだと、私もこの集会にいていいんだなという気持ちで参りました」と挨拶をしました。

今では、この集会にいるのが当たり前になり、私がお来なかったら男性の参加者が心配してくれるようになりました。

自治会も自分以外は男性ばかりで最初は針のむしろに座っているような感じでしたが、女だからと逃げるようなことは一切言わず、全部男性と同じように一緒にやりました。そして、一つひとつの行事も皆さんと協議しながら実行し、成果を上げていくことで、次第に皆さんが私のことを信頼してくれるようになったと感じています。

5 「男女がともにリーダーシップを発揮して、まちづくりを進めていくためにはどんなことが必要だと思いませんか?」

男女にかかわらず、お互いがそれぞれできることにちょっとずつ手助けをすれば、できることが随分と広がっていきます。女性がこれから先、リーダーシップをとっていくためには、発言力をつけていくことが大切だと思います。そのためには、物事の大事なことを正しく理解し、資料があれば事前に読んでおいて自分なりの意見を言えるように、そしてそれが的外れな意見ではないように努力することが重要です。

今の若い人たちは随分と助け合っていますので、女性が社会に進出できる今は、私から見れば成熟した社会だと思っています。だから、これからもどんどんお互いに助け合っていけば、女性ももっと輝けるような社会になると考えています。

6 「小学生の皆さんに向けてメッセージをお願いします。」

皆さん方はご自分が住んでいる地域を知っていますか?

お年寄りの方、障がいのある方、そういう方をまず知ることが大切だと思います。無関心は絶対にいけません。知ることによって皆さんの住んでいる地域がもっと元気になります。「おはようございます!」の挨拶ひとつで人と人とが繋がっていくと思います。明るくて楽しい、誰もが住んで良かったと思えるまちをつくるためにも、ぜひ皆さんの力が必要です。よろしくお願ひ致します。

